

■千石興太郎 実業家、産業組合指導者。多数の組織の長を務め、“産業組合の独裁王”と称せられるに至る。

せんごくこうたろう

佐賀の乱・・・1874＝ 東京日比谷で、越後出身の陸軍典獄千石徹の長男に生まれる。

明治14年政変1881＝ 7歳：

岩倉具視没・1883＝ 9歳：

帝国憲法発布1889＝15歳：

独協中学，

大本教・・・1892＝18歳：

札幌農学校予科を経て，

日清戦争始・1894＝20歳：

日清戦争終・1895＝21歳：札幌農学校農学科卒業。同校助手，

白馬会・・・1896＝22歳：農事試験場西が原試験場技師試験補から熊本支場技手となる。

子規句歌革新1898＝24歳：青森県立第二尋常中学校教諭を経て，

Bushidou・・・1899＝25歳：岩手県農事巡回教師，

てゐ/国産化・1900＝26歳：愛媛県農会技師，

田中正造直訴1901＝27歳：宮崎県児湯郡立高鍋農学校教諭と，

転々した後，

日露戦争終・1905＝31歳：

満鉄発足・・・1906＝32歳： 島根県農会技師となって以降，島根県に定着，大日本産業組合中央会島根支会理事，島根県技師，島根県農会耕地整理部長を兼任し，

伊藤博文暗殺1909＝35歳： 大日本産業組合中央会島根支会理事長となって後，

韓国併合・・・1910＝36歳： 島根県農業技師，

明治天皇没・1912＝38歳： *島根県信用組合連合会理事も兼任して，部落農会の設置，町村技術員の設置などを推進，'島根に千石あり'と中央に認められるに至り，

第一次大戦始1914＝40歳： 帝国農会議員。

ペルシ条約・1919＝45歳：海軍技官・臨時南洋群島防備隊民生部，総務課勸業係を経て，

大暴落・・・1920＝46歳： *産業組合中央会主事に就任，

原敬首相暗殺1921＝47歳：

関東大震災・1923＝49歳： 全国購買組合連合会専務理事，

治安維持法・1925＝51歳：産業組合振興刷新運動の発案，

共産党事件・1928＝54歳：産業組合全国大会の新機軸，

満州事変・・・1931＝57歳：

五一五事件・1932＝58歳： 全国購買組合連合会会長，

国際連盟脱退1933＝59歳： 全国農村産業組合協理理事長。産業組合拡充5ヵ年計画の実施など，産業組合の発展に尽力して，

帝人疑獄事件1934＝60歳： 産業組合中央会理事から，

芥川直木賞始1935＝61歳：著書「産業組合の陣営より」。 常務理事を経て，

日中戦争始・1937＝63歳： 副会頭，全国米穀販売購買組合連合会会長。

健保+総動員 1938＝64歳：貴族院議員に勅撰される。

第二次大戦始1939＝65歳： *会頭に就任。大日本生糸販売組合連合会会長などに就任して“産業組合の独裁王”と称せられるに至るが，

大政翼賛会・1940＝66歳：著書「我が農村建設」。大政翼賛会総務，

日米開戦・・・1941＝67歳：

創価学会検挙1943＝69歳： *戦時体制による農業団体統合で，中央農業会の顧問に退き，

年金+総武装 1944＝70歳：全国薪炭統制株式会社社長，

敗戦・・・1945＝71歳：内閣顧問，戦時農業団総裁を務めるうち，〈敗戦〉，東久邇宮内閣のもとで農商務大臣(のち農林大臣)となったが，わずか50日余の任期であったため，なにもなし得ずに終る。

新憲法公布・1946＝72歳：公職追放となり，

朝鮮戦争始・1950＝76歳：東京雑司ヶ谷の自宅で没した。